

I 基本集計

主要項目の月次・年次時系列表を見る上での注意

1. 月別結果のうち2011年以前の数値については、労働力調査長期時系列データを参照されたい。
(URL: <http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.htm>)
2. 「年」, 「年度」欄に「*」印を付してある結果数値には、沖縄県分は含まれていない。沖縄の本土復帰により、1972年7月以降、沖縄県も調査の範囲に含まれた。
3. 1977年以前の数値は、時系列接続用数値（1961年及び1967年の調査改正に伴う時系列上の断層補正並びに1975年国勢調査の確定人口による補正を行ったもの）である。このため、1977年以前の数値は、各年の報告書の数値とは異なる。
4. 労働力調査では、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となった。これに伴い、2011年の〈 〉内の数値は補完的に推計した値(2010年国勢調査基準)を掲載している。
5. 2012年1月結果から算出の基礎となる人口を2010年国勢調査の確定人口に基づく推計人口に切り替えた。ここでは、この切換えに伴う変動（全国の15歳以上人口で約69万人の増加）を考慮し、2005年から2011年までの数値（「年次」欄に「・」を付してあるイタリック書式の数値）について、2012年以降の結果と接続させるため、時系列接続用数値（2010年国勢調査の確定人口による遡及ないし補正を行ったもの）に置き換えて掲載した（比率は除く）。このため、当該期間の数値は、各年の報告書の数値及び統計表やe-Stat上のデータベースの数値とは異なる。
6. 季節調整の方法は、X-12-ARIMA（主要系列を除く系列はX-11デフォルト）管理限界 $9.8\sigma \sim 9.9\sigma$ による。詳細は、「付3 標本抽出方法、結果の推定方法及び推定値の標本誤差」を参照されたい。
7. 季節調整値については、新たに2016年1～12月の結果を追加して再計算されている。また、この際、2015年国勢調査の確定人口に基づく推計人口（2015年基準）によって遡及ないし補正を行った時系列接続用数値を原数値に相当する入力データとして用いた。このため、ここに掲げた季節調整値は、2015年の報告書に掲載した季節調整値から一部改定されている。なお、2011年3月から8月までは、東日本大震災の影響により全国集計結果が存在しないため、補完推計値を原数値に相当する入力データとして用いた。
8. 2017年の季節指数は、2016年12月までの結果から計算した推計季節指数を掲載している。